



第532号

令和4年8月31日
神戸市立甲緑小学校
☎581-1221
<https://www.kobe-c.ed.jp/krk-es>

朝晩に秋の虫の声が聞かれるようになりました。自然界の生き物は、夏から秋への季節の移ろいを敏感に感じ取っているようです。

今年は、コロナの感染状況が気になる中、3年ぶりに行動制限の無い夏休みとなりました。しかし、記録的な酷暑に加え、「どこでいつ起きるのか。」と不安になるほどのゲリラ豪雨で、「今まで経験したことが無い。」と表現されるほどの大きな被害をうけた地域がたくさんありました。心からお見舞いを申し上げます。

さて、夏休みの間も、コロナの感染状況は、一向に収まる気配がありません。特に、「BA5」などについては、感染力も高く、どこでどのように感染したのかが分からないほどです。

2学期は、自然学校に修学旅行と、その学年でしか経験できない行事が続きます。「コロナの対応が、いつまで続くのか。」という思いはありますが、子供たちの学びが滞らないように今まで同様、学校としましては感染症対策を行って参ります。また、まだまだ暑い日が続きます。引き続き、熱中症への対策とコロナへの感染対策を、地域やご家庭でもご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



～ 夏休みだからできること ～

さて、8月29日より夏季授業日がスタートしました。38日間の夏休み、大きな事故や事件の報告もなく、甲緑の子供たちが安全に夏休みを過ごせたことを何よりもうれしく思います。

1学期の終業式、私は子供たちに『夏休みだからできること』にチャレンジしてみよう!』と話をし、何気ない所に課題が隠れていることを紹介しました。「どこかへ出かけないと、できない。」のではなく、「時間がたっぷりあるから気付くことや調べられること」、それこそが『夏休みだからできること』だと…。

ある新聞に、1年生の子供が夏休みに自由課題として、『大好きなミントチョコレートアイスについて、食べ比べをしたこと』が掲載されていました。「自由だし、好きなものだからこそ気付くことがある。」と、私なんかは思ってしまうのですが、その子は「こんなの自由課題にならない。」と結局学校に持って行かなかったそうです。1年生なりに「こんな感じ。」というのがあるのかなとも思いますが、角度を変えて考えてみると、「こうじゃないといけない。」というものを大人が決めつけているのかもしれない。子供だからこそ気付く感性を、私達大人は、大切にしたいものです。

今年は、昨年度に比べて、たくさんのコンクール等の応募があります。しかし、そこには出品できないけれど、『夏休みだからできること』をがんばった作品もあります。子供の自由な発想のもと、その子の一生懸命な姿が思い浮かぶ作品に、今年度も『学校長 特別賞』を設けたいと思います。

(校長)